北九州市立足原小学校　学校通信　第９号

あ　し　は　ら

令和５年９月２９日（金）発行
校長　辻　井　美　恵
北九州市小倉北区足原二丁目８番１号
TEL:（０９３）９２１－３２０６

＜学校教育目標＞　豊かな心と健やかな体を育む教育の充実　確かな学力の向上を図る教育
＜目指す子ども像＞　いきいき　にこにこ　もりもり
【自分から学ぶ子ども‥いきいき】【思いやりのある子ども‥にこにこ】【たくましい子ども‥もりもり】

不審者対応の避難訓練を行いました

９月２０日（水）５校時に、全学年一斉に、不審者対応の避難訓練を行いました。校内に不審者が入ってきたという設定で行い、緊急放送の後、児童は担任の指示に従い、次の放送が入るまで、静かに教室内で待機していました。自然災害と同じように、「いのち」にかかわる訓練です。職員も児童も真剣に取り組みました。

では、なぜこのような訓練をするのでしょうか。

平成１３年に、大阪府の小学校に刃物を持った男が侵入し、次々と子どもたちを刺して回るという、大変な事件が起こりました。８人もの子どもが亡くなり、日本中が大きな衝撃を受けました。それまで、学校というのは、たいてい門が開いていて、自由に出たり入ったりできるようになっていました。しかし、この事件があってからは、不審な人が入ってこないように、どの学校も門を閉めておくようになりました。

また、今年の３月にも千葉県の中学校に刃物を持った男が侵入し、生徒を守ろうとした職員が重傷を負いました。本校でも９時頃には門を閉めています。しかし、もしもの場合を考えて訓練をする必要があります。自分のいのち、みんなのいのちを守るための大切な訓練です。

放課後、職員研修も行いました。元警察官（今は、株式会社サニックス　コンプライアンス推進室にお勤め）の方に講師として来ていただき、不審者対応と護身術について学びました。先生たちも、みなさんのいのちを守るため、学校を守るため、熱心に学びました。

＜不審者からいのちを守るための合言葉＞

いかのおすし

○　いか　・・・　知らない人についていかない
○　の　・・・・　知らない人の車にのらない
○　お　・・・・　怖いと思ったら、おおきな声でさけぶ
○　す　・・・・　危険を感じたら、すぐににげる
○　し　・・・・　何かあったら、すぐ警察や家の人、学校にしらせる

言葉のちからについて～みんなで考えましょう～

今まで、「言葉使いには気を付けましょう」と何度も伝えてきました。しかし、悲しいことに、みなさんが友達とトラブルになったときに、「ちくちく言葉」を使って友達を傷つけている人がいるようです。言葉には大きな力があると思います。言ったほうはすぐに忘れますが、言われたほうはずっとずーっと覚えているものです。相手を傷つけるつもりはなくても、言われたほうはとても傷つきます。人によって受け止め方が違います。感じ方も違います。だからこそ、相手の気持ちを考えて言葉を発することが大切です。身体に関すること、能力に関することなど、その人自身で今すぐどうにかすることができないことについて、心無い言葉で指摘したり笑ったりすることは絶対に許されません。その人の人格を否定することにもなります。また、いのちに関することも同じです。「死ね」と言われたらどんな気持ちになりますか。お願いです。自分が言われて嫌なことを周りの人に言わないでください。

保護者の方へ

ゲームや You Tube 等で、子どもたちの周りには情報を得る手段、知らない人とつながる手段があふれています。そこで得た情報の中には、心無い言葉もあります。保護者の方には、今、子どもたちがどんなゲームをし、どんな動画を見ているのか、気にかけていただきたいと思います。そこで、相手を傷つける言葉のように不適切なものはないか確認し、あれば注意をお願いします。家庭、地域、学校で子どもたちを見守り、心を育てていきましょう。ご協力をお願いいたします。